

## 県外派遣報告書

審判員名	渡部 辰也	所属	クラブ連盟
大会名	平成28年度 第22回 関東クラブバスケットボール選抜大会 兼 審判講習会		
期間	平成28年8月27日(土)～28日(日)		
会場	武蔵野総合体育館 小金井総合体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
8月27日(土)	開講式	武蔵野総合体育館 3階会議室	
8月27日(土)	実技講習	・武蔵野総合体育館 ・小金井総合体育館	
8月28日(日)	机上講習	武蔵野総合体育館 3階会議室	
8月28日(日)	実技講習	武蔵野総合体育館	
会議 講義 内容			
<p>机上講習『審判を担当する上での準備と常に心掛けていること』 講師 東京都審判委員長 久保裕紀 氏</p> <p>オフィシャルズ・マニュアルP.143ゲーム前の話し合い(Pre-Game Conference)を基に講習が始まり、常に心掛けていることを、ご教授して頂きました。</p> <p>オフィシャルズ・マニュアルに記載されていることを準備し、常に心掛けて審判をしてもらいたい。マニュアルは知っているが実際は出来ていないことがある。ファウルを取り上げた審判(コーリング・オフィシャル)、ファウルを取り上げなかった審判(フリーオフィシャル)の意識、スロアーにボールを渡す時は常にボクシング・インを意識しているか？普段から徹底してマニュアルに沿って行っているか？コートでの立振る舞い、観客目線で俯瞰的に自分を見る。自分の長所、短所に向き合い考え取り組んでいるのか？常に自問自答。どんな試合でも一つ一つ真摯に取り組んでいく。何かあった時のために準備出来ているか？試合中における最悪な状況(ワーストなケース)を準備しておく余裕が生まれる。難しいことは行っていない。当たり前の事が当たり前に行えるようにしっかりやる。徹底してこだわってやることを継続してやる。一つ一つの積み重ねが習慣になる。</p> <p>判定に関して、決してブラインドから笛を鳴らさない。ストレートラインでの判定も絶対にやっではない。それをやってしまうとプレイヤー、ベンチ、観客からの信頼を失う。判定に対して選手とミスマッチな笛。もしやってしまったら自分を責める。正しいプライド、一つ一つの笛に誠実な思い。もっと真剣にやらなければならない。</p> <p>マニュアルに記載されていることを的確にやらなければならない。独りよがりになっていることを再度確認する。タフなゲーム、辛いゲームから逃げない。</p> <p>この話をどう捉えてどう取り組むのか？やるのは本人次第である。今以上にやらなければいけないことを真摯に取り組んでもらいたい。</p>			

実技				
担当試合	期 日	8月27日(土)	男子	1回戦
	対戦カード	HONDA Nut' z(栃 1) VS	neoうめや(東2)	主審 副審
	相手審判	青木 太一 氏 (神奈川)		
ミーティング内容		主任 久保 裕紀 氏、松本 祐大 氏		
<p>今後にむけての改善点や課題として以下のようなアドバイスを頂いた。          試合の流れ、変化に気づけたか？気づくためにどうするのか？          説得力のある判定をするため、相手審判との位置関係、責任エリア、どちらが判定するべきなのかをもっと突き詰めなければならない。          トレイルで次に起こることへの準備が不足している。ワイドアングルの意識が強いため、位置取りが高くなっている。より良いアングル、スペースを求めて位置取りをする。          もっともっと危機感を持って審判をしなくてはならない。</p>				
全体の感想				
<p>今回初めて関東クラブ選抜大会へ派遣させて頂きました。日頃やっていることをコート上で表現できるように精一杯やろうと臨みましたが、審判として未熟だということを再認識させられる結果となりました。今後に向けての改善点や課題が明確になりました。今後、どんな試合でも一つ一つ真摯に誠実に取り組んでいきたいと思えます。最後に、東京都の皆さま、ご指導して頂いた皆さま大変御世話になりました。また、今大会へ派遣して下さった埼玉県協会、クラブ連盟の皆さまに感謝申し上げます。</p>				